

活用事例

兵庫県宍粟市（しろうし）と㈱オーエスエムは、2021年9月に地域の安全と住民の安心を目指した、まちづくりに関する協定を締結しました。

再生可能エネルギーとIoTを組み合わせた最先端のテクノロジーで、宍粟市の抱える課題解決を図ります。この度の実証実験では、はじめに市内に4本のオフグリッド電源ポールを設置し、街灯LED照明、ネットワーク通信、カメラ、遠隔保守などを開始します。

兵庫県宍粟市の課題

課題

オフグリッド電源ポールで できること

1. 脱炭素社会の実現

国の方針として宍粟市も推進。

100% 再生可能エネルギーを使用

2. 少子高齢化 / 労働力不足

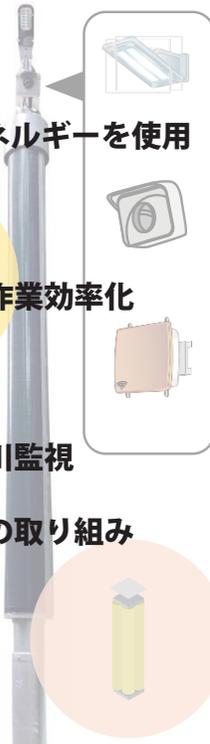
2040年には27,405人と予測。労働力不足が懸念。

遠隔監視・保守で作業効率化

3. 宍粟市強靱化 / 防災減災対策

豊かな自然がある一方で、自然の脅威が存在。防災 / 減災の対策。

土砂災害監視・河川監視 不法投棄監視 防災・減災・防犯の取り組み



設置場所

①最上山公園展望台



LED照明 通信

②宍粟市役所



LED照明 通信

③山崎町川戸

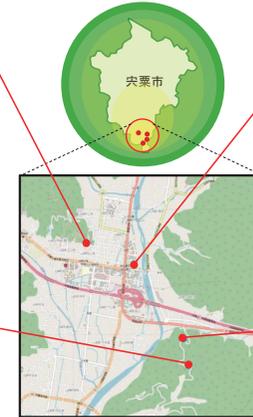


不法投棄監視

④山崎町須賀沢



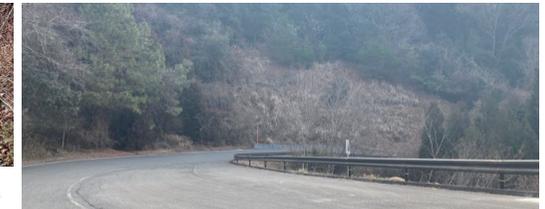
不法投棄監視



宍粟市山崎町の
4か所設置

使い方ー不法投棄対策ー

山中の道路に不法投棄が後を絶たない状況に頭を悩ませていた。



上・右) 不法投棄の現場

課題解決へ

